

Technology Lifecycle Services for IBM Storage

データセンターの一貫性と高可用性を促進

■ ハイライト

エンタープライズ・ストレージ・ソリューションの計画と導入

IBM Expert Careによるサポート・オプションのカスタマイズ

日常的なデータセンターのニーズにIBMを活用

IBMストレージ・システムの最適化

最新テクノロジーに更新

今日の複雑なハイブリッドIT環境にある企業は、既存のインフラストラクチャーを稼働し続けながら、データセンター、クラウド、エッジ全体で新しいテクノロジーを最大限に活用するためのサービスとサポートを必要としています。組織は、IBMとサード・パーティー・ベンダーのハードウェアとソフトウェアの両方に対する計画外の中断を予測して防止するための、プロアクティブな予測機能を求めています。日々のデータセンターのニーズ、システムの健全性、相互運用性をプロアクティブに管理するには、製品ライフサイクル全体にわたるインフラストラクチャー・サービスが必要です。これらのハイブリッド・アーキテクチャーは、優れた性能を発揮するように設計および計画する必要がありますが、貴重な少数の熟練したリソースを利用して、製品およびソリューションのライフサイクル全体にわたって完璧に実行する必要もあります。

IBM® Technology Lifecycle Services (TLS) は、IBM Systems製品、Red Hat、および主要なサード・パーティーのシステムおよびソフトウェアのサポートとサービスを提供します。IBMのプロセスには、クライアントのセルフサービスから内部の自動化までAIが組み込まれており、計画的および計画外のダウンタイムが削減されます。IBMは、ハイブリッドクラウドとエンタープライズITデータセンター・インフラストラクチャーを計画、展開、サポート、最適化、更新し、組織がデータセンター全体で一貫性、回復力、高可用性を推進できるようにします。

エンタープライズ・ストレージ・ソリューションの計画と導入

IBM TLS は IBM Expert Labs と提携して、お客様が IBM ストレージ システムの独自の機能を計画および導入できるように支援するサービスを提供します。お客様はアドバイザリー サービスを活用して、ハイブリッド クラウド、コンテナ化、サイバー回復力、最新のデータ保護、マルチベンダー ストレージ環境の監視と分析に最適なソリューションを決定できます。ビジネスと IT データ戦略を最適に調整するためにストレージ環境を分析し、クライアントが複雑さを軽減できるようにストレージソリューションを推奨および展開し、新しいテクノロジーを統合しながらレガシー システムを活用できます。



IBM Expert Care によるサポート オプションのカスタマイズ

IBM Expert Careはほとんどのストレージ・システムに含まれており、カスタマイズ可能なサポート・オプションが含まれています。Expert Careは、ハードウェアおよびソフトウェアのサポート・サービスを階層型サポート・モデルに統合して事前にパッケージ化し、クライアントが組織に適切なサービスを選択できるようにします。このサポート・アプローチは、より予測可能なメンテナンス・コストを提供し、導入と運用のリスクを軽減し、ITインフラストラクチャーのミッション・クリティカルな要件をケアするために、より高い可用性を維持し、優先的なサービスにアクセスできるように設計されています。

現在の複雑な環境では、「壊して直す」という昔の精神は通用しません。プロアクティブ型のサポート姿勢が、トップクラスの維持のためだけでなく、他のビジネス課題に取り組むリソースおよび時間を確保するためにも重要です。プレミアム・サービスは、エキスパート・ケアが利用できない場合および一部のエキスパート・ケア層でアドオンとして利用できます。これらのサービスは、クライアントが統合された仮想化されたクラウドベースのIT環境を維持しながら、高可用性と手頃な価格の向上のバランスを取るのに役立つように設計されています。

プレミアム・サービス・オプションにはコード読み取りの事前管理、予測的アラートと推奨事項の提供などが含まれ、BM Expert Care Technical Account Manage (TAM)から専属サポートを受けられる可能性もあります。Expert Care TAMはそれぞれ異質のIT環境を理解し、独自の診断ツールを活用して、IBMおよび他社製のハードウェアおよびソフトウェア技術全体にわたって問題の特定と解決にかかる時間の短縮に努めます。その成果として、お客様に時間と開発オプションを提供することができます。

日常のデータ・センターのニーズにIBMを活用

IBM Expert Care以外にも、データセンターの日常的ニーズに応えるプレミアム・サービスをご利用いただけます。マネージド型のサポートが社内全体に必要な場合は、Enterprise Accelerated Value Programを通じてハードウェアとソフトウェアのポートフォリオを対象に、クロス・プラットフォームでインシデントを管理できます。お客様は窓口をIBMのみに絞り、全社的にアカウント・オーケストレーションのサポートを受けることができます。窓口となる担当者は、サポートされるインフラストラクチャー全体のケースとエスカレーションを管理するだけでなく、IT環境全体の改善策も事前に検討します。

IBM Project Services for Infrastructure は、短期のハードウェア・プロジェクト向けに、システムのインストールと更新を行うサービス(インストール、移行と構成、システムを最適なパフォーマンスに保つためのパフォーマンス・チューニングなど)を提供します。サービスは、移転、実地棚卸検査、さらにはデータセンターの運用レビューなどの特別なイベントにも利用できます。スキル移転のための教育サービスは、ITスタッフのスキルを最新の状態に保つ必要があるクライアントを支援します。TLSと連携して、ほとんどの短期データセンター・プロジェクトの労働力とスキルをスタッフに補充する柔軟性が得られます。

IBMテクノロジー・ライフサイクル・サービスを利用すると、ミッションクリティカルなシステムを24時間365日スムーズに稼働し続けることができます。

IBMストレージ・システムの最適化

システム間やアプリケーション間で問題が生じている場合、最適でないパフォーマンスに悩んでいる場合、あるいは単にインフラを最大限に活用する方法を探している場合など、TLSは適切な人材、プロセス、技術でお客様を支援する専門知識を有しています。単純なチェックリストから詳細な健全性チェックまで、IBMの専門家は、お客様が次善のインフラストラクチャシナリオを発見して修正し、健全性を分析してIBMストレージシステムのパフォーマンスを最適化できるよう支援します。IBMの専門家は、実績のある方法論を活用して、お客様のITインフラストラクチャの最適化を支援します。

最新テクノロジーに更新

ライフサイクルが終わりに近づいているならば、製品の更新タイミングを考慮すべき時です。新しいバージョンへの単純なアップグレードであっても、まったく新しいソリューションへの移行であっても、IBMテクノロジー・ライフサイクル・サービスが役立ちます。キャパシティプランニングサービスを使用すると、クライアントはストレージ容量を増やすだけでよいのか、それとも新しいソリューションを検討する必要があるのかを判断できます。

IBMでは資産の廃棄に関して、Asset Recovery and Dispositionサービスを提供しています(現時点では米国とカナダのみ)。TLSはGARSと共同で、お客様が資産を安全に準備、撤去、発送し、現地規制に準拠してリサイクルまたは再販するお手伝いをします。

まとめ

IBMストレージへの投資を管理および保護し、ミッションクリティカルなワークロードの高可用性を一貫して維持することは困難な場合があります。TLSは、IBMストレージ製品から必要な機能を計画および導入するのに役立ち、サポートへの簡素化されたアプローチを提供します。データセンター内のIBMストレージとそれ以外のストレージ。

IBMテクノロジー・ライフサイクル・サービスをお勧めする理由

IBMテクノロジー・ライフサイクル・サービス(TLS)担当者はテクノロジー業務に数十年従事し、豊富な専門知識があります。世界中に活動拠点を持つIBMではハードウェアとソフトウェアのサポート・サービスを包括的に提供しており、お客様のITポートフォリオ全体の依存関係を明確にすることができます。IBMの実績あるサービス、技術サポート、信頼性と、IBM製品開発およびエンジニアリング・ラボへのアクセスを組み合わせることで、効率的なアドバイスと問題解決を提供できるように設計されています。IBMテクノロジー・ライフサイクル・サービスを利用すると、ミッションクリティカルなシステムを24時間365日スムーズに稼働し続けることができます。

詳細情報

IBM Storageのあらゆるサポートとサービスの詳細については、IBM代理店またはBusiness Partner®にお問い合わせいただくか、[IBM TLSエキスパート](#)に直接お問い合わせいただくか、www.ibm.com/jp-ja/services/systems-supportをご覧ください。

© Copyright IBM Corporation 2023

日本アイ・ビー・エム株式会社
〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19-21

2019年6月

IBMとIBMのロゴは、米国およびその他の国々におけるIBMの商標または登録商標です。その他の製品名およびサービス名は、IBMまたは他社の商標である可能性があります。IBM商標の最新リストは、ibm.com/jp-ja/trademarkでご確認いただけます。

本書は最初の発行日時点における最新情報を記載しており、IBMにより予告なしに変更される場合があります。IBMが事業を展開しているすべての国で、すべての製品が利用できるわけではありません。

本資料の情報は「現状のまま」で提供されるものとし、明示または暗示を問わず、商品性、特定目的への適合性、および非侵害の保証または条件を含むいかなる保証もしないものとします。

IBM製品は、IBM所定の契約書の条項に基づき保証されます。

